



平成 18 年 12 月 8 日

各 位

初 穂 商 事 株 式 会 社
代表取締役社長 齋 藤 悟
(J A S D A Q ・ コード 7425)
問合せ先
専務取締役管理本部長 高 野 温 志
電 話 0 5 2 — 2 2 2 — 1 0 6 6

平成 18 年 12 月期業績予想及び期末配当予想の修正に関するお知らせ

平成 18 年 8 月 10 日付当社「平成 18 年 12 月期中間決算短信（非連結）」において発表いたしました、平成 18 年 12 月期（平成 18 年 1 月 1 日～平成 18 年 12 月 31 日）の業績予想及び期末配当予想を、下記のとおり修正いたします。

記

1. 通期業績予想の修正等

(単位：百万円)

	売上高	経常利益	当期純利益	1 株当たり 期末配当金
前回予想 (A)	17,800	630	308	5 円
今回予想 (B)	17,800	550	252	7 円
増減額 (B-A)	0	△80	△56	2 円
増減率 (%)	0	△12.7	△18.2	—
(ご参考) 前期実績 (平成 17 年 12 月期)	17,012	573	△72	10 円

(参考) 1 株当たり予想当期純利益 (通期) 29 円 32 銭

(注) 1. 上記の予想につきましては、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績につきましては、今後様々な要因によって異なる結果となる場合があります。ことをご承知お願います。

2. 平成 18 年 7 月 1 日付をもって、普通株式 1 株を 2 株に株式分割を行っております。

2. 修正理由

(1) 売上高におきましては、当初計画通り推移しております。利益面につきましては、将来の事業展開に備え人員を増加したことにより、人件費等が増加いたしました。又、役員の内任期間の長期化に伴い、将来におけるその支出額の増加が見込まれることから取締役会において役員退職慰労金規定の見直し及び整備を行い、内規として決議いたしました。これにより、役員退職慰労引当金として、一般管理販売費 11 百万円、特別損失に 1 億 22 百万円を計上する予定のため、前回予想を経常利益 80 百万円及び当期純利益 56 百万円がそれぞれ減少する見込みであります。

(2) 当社は、本日開催の取締役会において、当初 1 株当たりの期末配当金を 5 円と発表しておりましたが、今回 1 株当たり 7 円（うち、普通配当 5 円・創立 60 周年記念配当 2 円）と修正することを決議いたしました。

以 上